

2024年5月24日

株式会社トクヤマ

AI活用の裾野拡大に寄与する
データ分析ツール
「Tokuyama AutoML」を開発

株式会社トクヤマ(本部:東京都千代田区、社長:横田 浩)は、2024年4月にデータ分析ツール「Tokuyama AutoML:Tokuyama Automated Machine Learning」を自社で開発しました。

今回当社が開発したツールでは、時系列データなどの数値データから特定の項目を予測するといった、「機械学習モデル作成」の自動化が可能となります。本ツールは、検討初期段階に必要なデータの「見える化」機能を始めとした機械学習プロセスに関わる一連の基本機能を有しています。これまで、大量のデータを扱う取り組みには、多大な作業時間を要し、特に「機械学習モデル作成」については高度な専門知識が必要であることが、全社でデータ活用を推進していく上で課題となっていました。

本ツールは、TDX(=Tokuyama DX)の取り組みの一つである「AI推進・活用支援タスクフォース」の活動の中で開発されたものです。データ投入から簡単な設定のみで、これまで時間を要していたグラフ化や相関行列を自動作成する「見える化」から、トライアンドエラーでアルゴリズム選定やパラメータ調整を行っていた「機械学習モデル作成」までの一連作業を自動化することにより、これまでより作業時間を70~80%削減することが可能です。また、データサイエンスの高度な専門知識がない従業員でも、データから示唆を得ることや、機械学習モデルを作成することが可能となります。本ツールの利用拡大により、AI活用の裾野を広げ、様々な課題解決への取り組みを進めていく予定です。

昨今のテクノロジーの伸長に伴う、社会全体としてのデータ利活用の流れが進んでいく中で、今後もTDXの推進を通じて、「生産性向上」、「機能強化」、「スピードアップ」を追求し、データとデジタル技術の活用を通じた業務革新を進めてまいります。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

株式会社トクヤマ 広報・IRグループ

TEL:03-5207-2552

【別紙】概念図

AutoMLとは

自動機械学習（AutoML：Automated Machine Learning）とは、機械学習を用いた分析で行われる、さまざまなタスクを自動化する技術のこと

機械学習における一般的なフロー

